

領域	専門基礎分野	授業科目	薬理学Ⅱ	単位 (授業時間/時間数)	1 (28/30)
開講年次	1年次	開講時期	前期	後期	通年
担当講師名	非常勤講師		講師所属		
授業のねらい 薬の作用についてただ覚えるだけではなく、薬が疾患の治療に用いられる理由を理解し、与薬前の準備から与薬後の経過観察までの一連のプロセスにおける薬の適正使用に関する考え方を身につけてほしい。					
授業目標 薬物の種類と作用が理解できる。					
授業概要 薬物の種類と基礎事項 <ol style="list-style-type: none"> 1. 抗感染症薬 2. 抗がん薬 3. 免疫治療薬 4. 抗アレルギー薬・抗炎症薬 5. 末梢での神経活動に作用する薬物 6. 中枢神経系に作用する薬物 7. 心臓・血管系に作用する薬物 8. 呼吸器・消化器・生殖器系に作用する薬物 9. 物質代謝に作用する薬物 10. 皮膚科用薬・眼科用薬 11. 救急の際に使用される薬物 12. 漢方薬 13. 消毒薬 					
授業の進め方 講義					
教科書 系統看護学講座 専門基礎分野 薬理学 疾病のなりたちと回復の促進 [3] (医学書院) 今日の治療薬 2019 (南江堂)					
参考図書					
評価方法 終講時 客観式テスト (100点) 試験時間は時間数に含む。					